

令和7年度事業報告書概要（海の森公園）

指定管理者：海の森公園グループ

1 管理状況

○ 適切な管理の履行

・事務所・便所及び園路清掃

事業計画ではトイレ及びビジターセンター、管理事務所の清掃回数を週4回としたが、現場状況から4月からは週5回に実施回数を増やし、さらに7月以降はいずれも毎日実施することとし、常に快適・清潔な状態を維持した。また毎日実施している日常清掃の他、事務所・ビジターセンターの床・窓清掃を年1回、トイレ床面を年3回、トイレ尿石取り作業を年1回実施し、汚れの蓄積を防いだ。アンケートのご意見欄や利用されたお客様から、いつもトイレが綺麗という評価を多数いただいている。



トイレ清掃



トイレ床面定期清掃

・遊具等施設清掃

当公園はカラスなどの鳥フン被害が多いため、巡回時に遊具・ベンチ・水飲み場などの施設に糞汚れがないか毎日点検を実施している。汚れを確認次第、高圧洗浄機等を使用して洗浄し、常に清潔な状態を維持した。

特にわいわい広場に設置されている大型複合遊具は鳥が集まりやすいため鳥フン被害が多く、お客様の利用が多くなる前に高圧洗浄機を使用して洗浄を実施した。こびりついた頑固な汚れには洗剤等も使用し、清潔さを維持するとともに施設の腐食等を防止した。また鷹を模したカラス除けのカイトを遊具に設置することでさらなる鳥フン被害の防止に努めた。



ベンチ清掃



水飲み場清掃



看板清掃



ゴムチップ清掃



遊具清掃



大型複合遊具清掃

・ヤギを活用した除草

人力による草刈りが困難な傾斜地にヤギ3頭を放し、エコな除草を行うとともに、危険な傾斜地での作業による事故防止を図った。また草を食べる様子は来園者からも好評であり、公園のマスコットキャラクター的存在となった。

次年度は4月から11月末まで導入を予定。



右：ヤギなしエリア 左：ヤギ導入エリア



来園者からも大人気

・西の小山・東の小山 眺望確保

海の森公園の売りのひとつである、西の小山・東の小山からの眺望をさらによくするために、除草と樹木の強剪定を行った。特に東の小山は樹木が生長し視界が狭くなっており、来園者からの要望もあったことから、広範囲にわたり剪定を行った。来園者からも大変好評で、毎日、散歩で訪れるほど気に入ってくれた方もいるほどである。



西の小山



東の小山

・来園者カウント機能を持つAIカメラの導入

A Iカメラは画角内の顔認識をするため、入園者が画角内で動き回っても二重計測しないので入園者の計測精度が高い。また、この導入により、これまで巡回スタッフが人数計測した作業時間を園内巡回や来園者対応に振り替えることができ、サービス向上につながった。

○ 安全性の確保

・雷・気象情報提供サービスの導入と、雷雲接近時の注意喚起放送の実施

つどいの草原、西の小山・東の小山等利用者が多いエリアは高台になっており、落雷の危険性が高いため、雷・気象情報提供サービスを導入し、注意喚起を行っている。このサイトは雷雲が接近するとアラームで知らせが届くようになっており、アラームが鳴った際は、速やかに園内放送で注意喚起を実施し、利用者の安全確保に努めた。

・ハザードマップの作成

管理事務所に園内の危険箇所を記したハザードマップを作成した。危険箇所を確認した際はハザードマップ上に危険箇所を付箋で示し、スタッフ間で情報を共有。危険箇所を解消した後は付箋を外し、常に掲示内容を最新の状態としている。

2 事業効果

○ 事業の取組

・いきものみつけ【実施回数:9回、参加人数:1,404名】

つどいの草原を中心に、虫捕り網と虫かごをもって、いきものを捕まえるイベントを開催した。都心の近くにもかかわらず、多くの生きものを捕まえられることは海の森公園の大きな魅力の一つである。図鑑の中でしか見たことがなかった生きものを実際に捕まえられるのは貴重な体験であると、大変好評だった。



・海の森学校の開催

海の森の生きものや環境などをテーマにした「海の森学校」を定期開催する事で、継続的に参加してくれる海の森ファンの獲得に努めた。令和7年度は試行的に9月～12月にかけて実施したところ、継続して参加したいという希望をいただいた。令和8年度は4月から毎月、様々なテーマで開催を予定している。



・ベンチの設置

園内に休憩場所が少ないというご意見が多数ある事から、わいわい広場・坂の上広場・西の小山・東の小山にベンチを合計12基設置した。利用率も高く大変喜ばれていることから、令和8年度はテーブルベンチが一体となった、テーブルベンチを新たに設置する予定である。



・スロープの設置

管理事務所側からこども広場へ向かうには階段しかなく、ベビーカーや車イスは遠回りをする必要があったため、誰でもアクセスしやすいようにスロープを設置した。これまではこども広場を素通りして、直接わいわい広場へ向かう方が多かったが、スロープを設置したことで、こども広場を利用する方が増えてきている。



・園外イベントにおけるブース出展

園外でのPR活動を年5回実施し、海の森公園の周知に努めた。（横浜フラワー＆ガーデンフェスティバル/野鳥公園フェスティバル/日比谷公園ガーデニングショー/里地里山フェスティバル/チューリップフェスティバル）まだ海の森公園を知らない方が多く、今後も定期的にPR活動を行っていきたい。



・うみのもりすけを活用した取り組み

①来園者の多い日に、公園内でうみのもりすけの着ぐるみを登場させた。②開園1周年記念イベントにあわせて、坂の上広場にフォトスポットを設置。③広報用ツールとして、配布用ノベルティを作成した。



着ぐるみの活用



フォトスポット



オリジナルグッズの作成

○ 利用の状況

令和7年度の来園者数：128,391名

○ 行政目的の達成

・早期開園における警備員対応

10月30日より早期開園（7時～）を開始した。警備員が朝7時から事務所がオープンする9時まで、毎日、門の開錠と園内巡回を行い、事故やトラブル等に対応している。延べ4,048名の早期来園がみられ、犬の散歩利用など一部の利用者は定着している様子もあり、多くの方にご利用いただいている。

・GRAND CYCLE TOKYO レインボーライド2025

イベント開催日は交通規制が実施され公園の周辺道路が通行止めとなった事から、事前にポスターや公園ホームページにて周知を図った。



3 収支状況（単位：千円）		
項 目		金 額（税 込）
収 入 計		293,881
内 訳	指 定 管 理 料	293,881
	利 用 料 金	
支 出 計		279,422
収 支 差		14,459

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。